



海と日本 PROJECT

全国寄港地・船主集落BOOK



# 北前船

きた

まえ

ぶね

## こども調査団

2018

かば  
かば

かば  
かば



# 北前船とは？



江戸時代から明治時代にかけて、  
北海道と東北、北陸、瀬戸内海を経て、  
西日本を結ぶ日本海を中心とした航路として、  
日本経済の大動脈となりました。

北前船はいわば「海の総合商社」で、

米、ニシン、昆布、日用雑貨などの生活物資のほか、  
人や文化も運び、海を通じて日本の経済発展に貢献し、  
北前船が一航海するだけで千両（現在の約1億円相当）  
もの利益があったそうです。

日本海沿岸を中心とする寄港地・船主集落には、  
廻船問屋や商家の大規模な建物が並び、

祭りや芸能など独自の文化  
が花開きました。



北前船は  
**日本遺産**に  
**認定**されました。

2017年4月

荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間  
～北前船寄港地・船主集落～

2018年6月に追加認定されて、38市町になりました。

## 北前船こども調査団

日本財団が推進する「海と日本プロジェクト」の一環として  
北前船の寄港地・船主集落の小学生たちが「北前船こども  
調査団」を結成！地元に残る北前船の“繁栄のあと”を  
たずねて、北前船が何を運んだのか、その結果何が  
変わったのかを調査してきました。「北前船こども  
調査団」のみんなの報告を、ぜひご覧ください！



# 海と船でつながる港町38ヶ所!!

## 北前船全国寄港地・船主集落マップ

「北前船こども交流拡大プロジェクト」に参加してくれた全国の北前船の全国寄港地・船主集落です。海をわたって行き来した北前船が立ち寄った町はどんな場所だろう? 意外な町とつながっているぞ! チェックして出発しよう!!

### 北海道

- 函館市 p.04
- 小樽市 p.04
- 松前町 p.04
- 石狩市 p.05

### 秋田県

- 秋田市 p.07
- 能代市 p.08
- にかほ市 p.08
- 男鹿市 p.08
- 由利本荘市 p.09

### 福井県

- 敦賀市 p.14
- 小浜市 p.15
- 坂井市 p.16
- 南越前町 p.17

### 石川県

- 小松市 p.13
- 輪島市 p.14
- 加賀市 p.14

### 青森県

- 鯿ヶ沢町 p.06
- 深浦町 p.06
- 野辺地町 p.07

### 京都府

- 宮津市 p.16

### 山形県

- 酒田市 p.10

### 鳥取県

- 鳥取市 p.17

### 新潟県

- 新潟市 p.10
- 長岡市 p.11
- 上越市 p.11
- 佐渡市 p.12

### 岡山県

- 倉敷市 p.19

### 大阪府

- 大阪市 p.22

### 富山県

- 高岡市 p.12
- 富山市 p.13

### 広島県

- 尾道市 p.18
- 呉市 p.19

### 兵庫県

- 赤穂市 p.20
- 洲本市 p.21
- 神戸市 p.21
- 高砂市 p.22
- 新温泉町 p.21

### 島根県

- 浜田市 p.18

## 蝦夷の地の街を支えたペザイ船

### 北前船が運んだもの

北前船は、蝦夷地で取れた魚のしめ粕や身欠きニシン、サケ、昆布などの海産物を、函館から本州に運び、食料の米や木綿、衣類などの生活用品を、本州から函館に運びました。

### 北前船が街と海に残してくれたもの

北前船で富を得た「函館の恩人」高田屋嘉兵衛は、私費を投じて湾内に造船所や築島を造り、街の基礎を築きました。船大工達は技術を明治期の洋風建築に生かし、北前船船主たちは北洋漁業の経営に乗り出して、一大産業へと成長しました。



▲函館のまちの基礎を築いた「高田屋嘉兵衛」

▶蝦夷地から本州に運ばれた昆布



## 北前船の終着地 新しい出発の地 小樽

### 北前船が運んだもの

小樽は終着地点なので、北海道で暮らす人々が必要とする衣食、道具などが全国から運ばれました。小樽で積み込まれたニシン粕などの海産物も全国各地に運ばれました。

### 北前船が街と海に残してくれたもの

明治時代、北前船は北海道の玄関であった小樽に多くの品物とともに人や文化を運びました。新しい仕事に進んでいった船主たちがのこした倉庫や鳥居など多くの文化財もあります。



▲北前船主がつくった倉庫

▶北前船によって運ばれたもの



## 北の交易拠点・松前藩(町)

### 北前船が運んだもの

松前からニシンや昆布のほか海産物などを大阪等へ運び、ニシンのしめ粕は畑の肥料として全国各地で利用されました。大阪などから木綿、古着、塩、米、こうじ、みそなどが松前に運ばれました。

### 北前船が街と海に残してくれたもの

全国的に有名な松前漬や北前船寄港だった福山波止場、関西から伝わった松前祇園囃子、越前の笏谷石や瀬戸内地方の花崗岩が使用された松前藩主松前家墓所など。



▲優雅で華やかな「松前祇園囃子」

▶北海道の郷土料理「松前漬」





生振小学校の  
こども調査団が  
調べたよ!!



## 石狩の北前船は 行きも帰りも宝船

### 北前船が運んだもの

石狩市から外へ運んだ宝物

from Ishikari

- ① 昆布や塩ジャケ、数の子などの海産物
- ② 綿花や藍などの生産に欠かせないニシン粕という肥料

外から石狩市へ運んだ宝物

to Ishikari

- ① 米、みそなどの食べ物
- ② 布、道具などの生活を支えるもの



▲多くの海産物が運び出された

### 北前船が街と海に残してくれたもの

厚田には明治24年に5万石（今の金額で約50億円）のニシンがとれたことを感謝する豊漁記念碑が残っています。また、石狩の神社には笈谷石の狛犬や御影石の鳥居が残っています。その他獅子舞など本州の伝統文化も数多く伝えてくれました。



▲本州から運ばれた荷物でにぎわう浜



▲「甲斐湾」実地見学

北前船を通じて感じた、  
地元の海に対する  
私たちの想い。

(調査後の感想より抜粋)

- 海と石狩の歴史が、北前船と石狩湾新港で昔も今もつながっていることがわかってとてもおもしろかったです。
- 石狩にもまだ北前船関連の建物などがたくさんあることがわかり、日本遺産を知りました。
- 厚田や本州の人お互いが喜びあえ、お互いに待ちわびる、それが北前船だとわかりました。
- 昔に興味がなかったのに興味がわきました。
- 石狩には古い歴史があること、木で作られた北前船を知り、すごく海に興味を持ちました。
- 北前船が本州大阪と蝦夷地を往復していたことがわかりました。



▲道の駅石狩「あいろーど厚田」2階の北前船ジオラマコーナーでの授業



## 夢は津軽海峡を越えて鯺ヶ沢

### 北前船が運んだもの

津軽平野でとれるたくさんの米が鯺ヶ沢に集められ、北前船で大坂や北海道に運んでいました。大坂などからは木綿、着物などの日用雑貨、塩、酒、たばこや薬などが運ばれてきました。

### 北前船が街と海に残してくれたもの

津軽海峡を行き来していた北前船主たちが、航海安全を祈って多くの船絵馬や石造物を残しました。白八幡宮大祭や鯺餅など、西日本から伝わってきた文化が今も息づいています。



▲白八幡宮大祭  
▶鯺餅



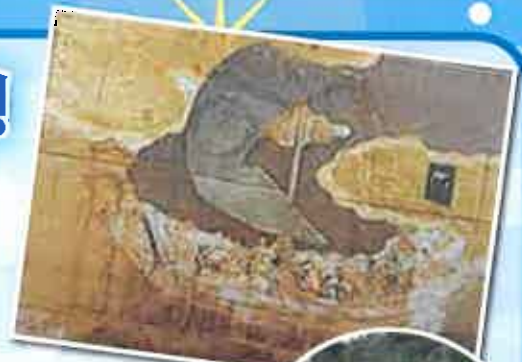
## よみがえれ！海のヒーロー！

### 北前船が運んだもの

深浦の観音様と呼ばれ、人々から親しまれ篤く信仰されてきた真言宗春光山円覚寺に、国内でただ1枚だけの「北国船」の絵馬があります。

### 北前船が街と海に残してくれたもの

時代が移ろっても北前船の「風待ち湊」だった町の人達には、旅人をもてなすDNAが刷り込まれています。温かい地元の人々の優しさこそが北前船が残してくれた宝物です。



▲国内でたった1枚しかない「北国船」の絵馬  
▶北前船の「風待ち湊」



北前船を通して感じた、  
地元の海に対する  
私たちの想い。

金刀比羅宮は海の神様と呼ばれており野辺地の港を向いていて（普通は向く方向が違う）、野辺地が海ととても関係の深い町だと今回初めて分かりました。

漁協で食べさせてもらったホタテは味がすごく濃くてとても美味しかったです。自分達の町からこんなに美味しいホタテが全国に出荷されていると思うと誇らしいです。

昔は船がたくさん行き来していて野辺地がとても栄えていたことが分かりました。今は船の行き来はないので港の役割は無く、養殖などしている。野辺地がまた栄えた町になるといいと思います。



▲漁協では美味しいホタテも食べさせてもらいました。

# 重なる荷の山 たんとたんとこの港町

## 北前船が運んだもの

秋田は主に佐竹藩の年貢米ねんぐまいが上方(大阪)へ運ばれました。福井県から運ばれた笏谷石しやくたにいしは、多くのお寺や神社に今も見られます。

## 北前船が街と海に残してくれたもの

港から雄物川の川船により内陸地域にもつながっていました。北前船のもたらす商品は港町だけではなく、城下町や農村まで多くの人々の生活を豊かにしていました。



▲土崎神明社祭の曳山行事  
▶大正寺おけさ



野辺地小学校の  
こども調査団が  
調べたよ!!

# 野辺地の象徴 『みちのく丸』



▲復元北前型并才船みちのく丸

## 北前船が運んだもの

野辺地町から外へ運んだもの (主に大阪)

from Nohaji

- ①大豆、魚介類
- ②銅、紫根、木材、イワシのしめ粕

外から野辺地町へ運んだもの

to Nohaji

- ③常夜燈 (瀬戸内)、野辺地八幡宮の御神燈 (大阪)  
のへじ祇園まつり (京都)
- ④郷土料理けつめい茶の茶がゆ (京都)
- ⑤衣服 (大阪)、お茶 (大阪)、塩 (瀬戸内)



▲浜町の常夜燈 [町指定史跡]



## 北前船が街と海に残してくれたもの

浜町の常夜燈は文政10年(1827)に建てられ、盛岡藩の日本海航路への窓口としてにぎわった野辺地湊へ夜間入港する船への目印として、毎晩火が灯されていました。また、京都祇園祭ぎおんに似た優雅な囃子はやしと山車が彩る「のへじ祇園まつり」も今に残されています。



▲のへじ祇園まつり



## もくと 木都能代へと紡いだ北前船物語

### 北前船が運んだもの

銅、米、木材などを上方（京都、大阪）方面へ運び、上方方面から、衣類、塩などが運ばれました。ほかにも、人、文化などが運ばれてきた名残が市内に見られます。

### 北前船が街と海に残してくれたもの

北前船が行き来することで、まちには廻船問屋が建ちならび、能代は港町として栄えました。その後も、良質な木材の交易が進み、東洋一の木都と呼ばれるまで発展しました。



▲恵比須神社船絵馬  
▶能代風（べらぼう風）



## れいほうちょうかいさん みなと 霊峰鳥海山を望む天然の湊

### 北前船が運んだもの

にかほ市の各湊からは主に米を大坂（大阪）や蝦夷地（北海道）へ運び、各地から塩、砂糖、海産物、日用品などが入ってきました。蝦夷地からはアイヌの文物も運ばれました。

### 北前船が街と海に残してくれたもの

船乗りの一番の願いは航海の安全です。霊峰鳥海山を望む塩越湊周辺の神社にはたくさんの船絵馬が奉納されています。秋田県最古の船絵馬や、まげ絵馬も残っています。



▲奉納された船絵馬  
▶「アイヌ」の衣装



## 秋田最大の船主 “北浦の田ツ慶”

### 北前船が運んだもの

男鹿からはハタハタやニシンを肥料として大阪方面へ、米や豆など食料を北海道へ運び、大きな利益を上げていました。地元へは木綿や瀬戸物、砂糖などを運んできました。

### 北前船が街と海に残してくれたもの

田沼慶吉は十数隻の大型木造船を所有する大船主でした。安全な航海のため灯台を設置させ、小学校や警察分署の建設、農地用水道の工事など、地域の発展にも貢献しました。



▲田沼家の土蔵  
▶ハタハタ





秋田県

# 由利本荘市

新山小学校  
鶴舞小学校



新山小学校と  
鶴舞小学校の  
こども調査団が  
調べたよ!!

## 北前船は 海の宅急便!

### 北前船が運んだもの

由利本荘市から外へ運んだもの from Yurihonjo  
大阪へお米と、日本各地に木材（秋田杉）

外から由利本荘市へ運んだもの to Yurihonjo  
福井から瓦や狛犬の他、日本各地から塩や砂糖、木綿



▲福井県の「笏谷石」で作られた狛犬

### 北前船が街と海に残してくれたもの

船乗りたちが伝えたと言われる「石脇さんぶつ」という祝い唄が  
今も歌い継がれています。また、石灯籠や船絵馬、瓦などに残  
る地名から、各地の物と人との交流があったことがわかります。



▲今も歌い継がれる「石脇さんぶつ」



▲切り出された「秋田杉」

北前船を通じて感じた、  
地元の海に対する  
私たちの想い。

海があることで他の都道府県との交流があり日本がよくなりました。また、車や飛行機がなかった時代に船だけで全国に物を運んだおかげで港町がにぎやかになっていきました。

海があることで港が出来るようになって、北前船がくるようになった。さらに、北前船がくるようになり、文化や技術が発展していったのです。

海と北前船があったおかげでその県の足りないものが補えたのだとわかりました。



▲「新山神社」に奉納された石灯籠を調査しました。



山形県

# 酒田市

たくせい  
琢成小学校



琢成小学校の  
こども調査団が  
調べたよ!!

## 北前船がつなぐ、 酒田の未来と夢



▲庄内平野と稲穂

### 北前船が運んだもの

酒田市から外へ運んだもの

from Sakata

- ① 米、大豆、小豆、<sup>あおぞ</sup>青芋など
- ② べにばな、<sup>だんす</sup>船草笛など

外から酒田市へ運んだもの

to Sakata

- ① 塩、酒、油、茶
- ② <sup>あいたま</sup>藍玉、瀬戸物、ひな人形、庭石
- ③ <sup>まいと</sup>舞妓（酒田舞娘）さんの文化



▲「日和山公園」の常夜灯と「酒田港」



### 北前船が街と海に残してくれたもの

上方の文化（食、ひな人形、山王祭の山車の起源）が残されています。また、庄内の米のおいしさと魅力を全国の人に知ってもらい、今のつながりの土台となり、交易を通して、異文化と地元文化が融合し、魅力ある街を形成しました。本間家の植林事業は、能登のクロマツが使われ、今も広大な砂防林として重要な役割を果たしています。



▲京文化を今に伝える舞娘茶屋「相馬楼」にて

北前船を通じて感じた、  
地元の海に対する  
私たちの想い。

日和山から見える海。たくさんの船やクルーズ船が寄港する酒田の港は、約200年前から、北前船が来ていたことがなんだか不思議。今まではレジャーの場所ぐらいしか考えていなかったですが、北前船や公益の歴史を知り、改めて酒田の海、港を誇りに感じました。酒田の海を自慢したい！

## 新潟を開港に導いた北前船の繁栄

新潟県  
新潟市

### 北前船が運んだもの

新潟から北陸や大坂などの西国へは、米、酒、畳などが運ばれました。新潟へは北陸や西国からお茶、木綿、鉄、陶器、塩、砂糖、畳表などが、北海道からはサケ、マス、ニシン、昆布などが運ばれてきました。

### 北前船が街と海に残してくれたもの

北海道から運ばれてきた食材を利用したニシンの昆布巻き、<sup>ぼうだら</sup>棒鱈などが有名です。船の安全を祈るため始まった<sup>みなとまつり</sup>湊祭は、「新潟まつり」として現在も続いています。



▲旧小澤家住宅

▶お酒、焼酎を北海道へ  
運んだ巻（新潟市西蒲区）  
で焼かれた「松郷屋焼」



新潟市巻郷土資料館提供

みなと てらどまり  
**北前船と歩んだ漬、寺泊**

**北前船が運んだもの**

北前船の航海には危険がつきものでした。船乗りたちは航海の安全を祈り、また無事に帰って来られたことに感謝して、海の神様をまつる白山姫神社に「船給馬」を奉納しました。

**北前船が街と海に残してくれたもの**

船乗りの楽しみは民謡を唄うこと。行く先々の港で新しい歌を覚えたので、たくさんのレパートリーがありました。「越後追分」「寺泊おけさ」も船乗りが好んで唄った民謡です。



▲奉納された船給馬

▶寺泊おけさ



国府小学校の  
こども調査団が  
調べたよ!!

**直江津に文化と幸せを運んだ船**

**北前船が運んだもの**

上越市から外へ運んだもの from Joetsu

① 新潟産の米

外から上越市へ運んだもの to Joetsu

① 身欠きニシンや干しするめ (北海道)

② 笏谷石 (福井)、御影石 (大阪)



▲直江津港

**北前船が街と海に残してくれたもの**

八坂神社は今でも北前船が運んだ石が神社の土台石 (笏谷石) や参道 (御影石) として使われています。また、北前船が運んだ民謡「米大舟」の船の荷物を運んでいる様子や波を表現した歌と踊りは大切に受け継がれています。



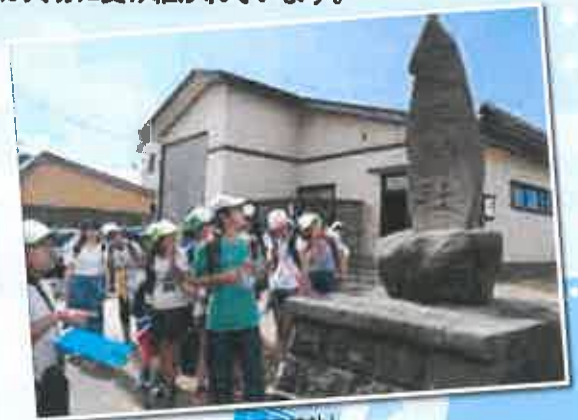
▲北前船が運んだ民謡「米大舟」体験



北前船を通じて感じた、  
地元の海に対する  
私たちの想い。

海は今も昔も人と人をつなぐ偉大な存在だと感じました。港の歴史と文化にあふれた直江津の海があることで、たくさんの物が運ばれてきたりして大切な存在になりました。「海は昔も今も、町や国をつなぎ、物を運ぶ道」という存在。

改めて海が存在を知る事ができました。この機会以北前船の事もよく知れて、海に親しみを感じました。



▲海上安全を祈願する「八坂神社」

# 千石船と船大工の里 宿根木 しゆくねぎ

## 北前船が運んだもの

米、酒、海産物、船草笥、北海道向けのわら製品や竹細工などを運んでいました。瀬戸内海産の御影石、福井県の笏谷石、島根県の石州瓦、食器、壺類などを運んできました。

## 北前船が街と海に残してくれたもの

廻船業で栄えた宿根木は、集落全体が国指定の重要伝統的建造物群保存地区となっています。石畳路地、廻船主の主屋、復元された千石船など当時の古い町並みが体験できます。



▲三角屋  
▶舟つなぎ石



# 富山県 高岡市

伏木小学校

# いイモノ運ぶ北前船で高岡繁栄

## 北前船が運んだもの

高岡市から外へ運んだもの from Takaoka

- ① 米
- ② ニシン粕を作るためのニシン釜や塩釜などの鉄器や銅器

外から高岡市へ運んだもの to Takaoka

- ① 昆布やニシン粕
- ② 肥料



▲高岡から全国に運ばれたニシン釜や塩釜



伏木小学校の  
子ども調査団が  
調べたよ!!



▲北前船で京都から運ばれた伝説の残る「勝興寺舊門」

## 北前船が街と海に残してくれたもの

北海道から運ばれた昆布によって、昆布の食文化が根付きました。また、香港地として築いた財により、現在は伏木富山港となって日本海屈指の国際拠点港湾の役割を果たしています。

北前船を通じて感じた、  
地元の海に対する  
私たちの想い。

- 大きな荷物をたくさん運んでいたことがわかりました。
- 木造の船なのに運べたのがすごいと思いました。
- 昔の人がどのように暮らしていたかわかったような気がしました。
- 北前船は、たくさんの物を全国に広めたので私たちにとっては自慢できることだと思いました。
- 鑄物を作った人をすごいと思うし、売る人も作った人の努力もわかっていてと思うので、全員で協力していたことがすごいと思いました。



▲「高岡市鑄物資料館」の見学の様子

## 倍バイで儲けた北前船

### 北前船が運んだもの

北前船は、富山から、当時米が採れなかった北海道へ米、むしろ、縄を、大阪へ主に米を運び、北海道から昆布、乾燥ニシン、ニシンの絞り粕（肥料）を運んできました。

### 北前船が街と海に残してくれたもの

一人当たりの昆布購入額全国一。昆布は昆布かまぼこ、昆布じめ、昆布巻、とろろなど富山の食文化に根付いています。岩瀬地区には北前船主旧住宅など古い町並みが残っています。



▲森家  
▶昆布じめ



## 石川県 小松市

あたか  
安宅小学校

## 時をかける 安宅の宝

### 北前船が運んだもの

小松市から外へ運んだもの from Komatsu

- ① 米、煎茶
- ② 絹織物、墨表、九谷焼、石材、瓦など

外から小松市へ運んだもの to Komatsu

- ① 昆布、砂糖、ニシン、塩
- ② 木炭、鉄、石炭



▲「安宅住吉神社」の船絵馬



▲安宅まつり

### 北前船が街と海に残してくれたもの

松村家の離れを移築した料亭「長沖」の大広間「金剛」や瀬戸家などの豪商や船主の家。他にも航海の安全や繁栄を祈って納められた船絵馬。また、「札抜町」などの旧町名や大きな曳舟がまちを練り歩く「安宅まつり」からも北前船の面影が感じられます。

北前船を通じて感じた、  
地元の海に対する  
私たちの想い。



海をもっときれいにしたいと思いました。北前船は当時安宅では手に入りやすかったものをたくさん運んできてくれたので、海は人々の生活にとって重要なものだと思います。

北前船の話が受け継がれている安宅の海を大切にしたいと思いました。



▲大広間「金剛」がある料亭「長沖」



## 室町時代より続く港湾都市 ～輪島～

### 北前船が運んだもの

輪島は北海道と交易があり、門前町黒島町の神社にはアイヌの祭具である「イナウ」が奉納されています。蝦夷からは塩漬けのマスなどの海産物が運ばれ、輪島からは海産物、塩、炭、鉄などが運ばれていきました。

### 北前船が街と海に残してくれたもの

門前町黒島町は廻船業で栄えた町で、今もその町並みは残り、国の重要伝統的建造物群保存地区です。中でも旧角海家住宅は廻船問屋として栄えた建物で国の重要文化財です。また、輪島は小屋湊とよばれた北前船交易の拠点でした。



▲旧角海家住宅  
▶イナウ奉納額



## 北前船主がつくった高級住宅街

### 北前船が運んだもの

加賀からは、北前船でお米を運びました。加賀のお米はおいしいと評判でした。地元へは、大坂で船乗りが買い求めた、着物やアクセサリーなどの高級なおみやげ物が運ばれました。

### 北前船が街と海に残してくれたもの

北前船主や船頭のお屋敷が建ち並ぶ橋立の町並みは、町全体が北前船の遺産です。また、山中温泉で今でも歌われている山中節は、湯治に来た船乗りが歌った松前追分を、浴衣娘が山中なまりで歌ったものです。



▲加賀へ運ばれた船物



▲「橋立」の町並み



## おぼろ昆布のふるさと! 敦賀湊

### 北前船が運んだもの

敦賀からは茶、ろうそく、くぎ、傘、むしろなどを北国へと運びました。反対に昆布やニンジンなどの「松前物」が近江商人によって敦賀に運ばれました。

### 北前船が街と海に残してくれたもの

特産品のおぼろ昆布は全国シェアの80%を占めています。また、北前船の目印となった洲崎の高灯籠や北前船主であった大和田荘七が建てた大和田銀行初代本店も残っています。



▲ニンジン蔵  
▶手すき「おぼろ昆布」



雲浜小学校の  
こども調査団が  
調べたよ!!

福井県

小浜市

うんびん  
雲浜小学校

# 小浜の文化も全国へ 運んだ北前船

## 北前船が運んだもの

小浜市から外へ運んだもの

from Obama

- ① そうめん、米、海産物
- ② 日用雑貨、若狭瓦、若狭塗、わら、むしろ、木、綿、古着

外から小浜市へ運んだもの

to Obama

- ③ 昆布、ニシン（北海道）
- ④ めのう（北海道）、若狭塗（青森）

## 北前船が街と海に残してくれたもの

毎年9月に行われる放生祭、北海道の家の屋根に多く使われている若狭瓦、神社にある航海の安全を祈り祀られた北前船の1/10の模型「奉納船」や銅の灯籠が残されています。若狭塗は、青森県から福井県に伝わり今でも続いている伝統です。



▲神社に奉納された「奉納船」



▲全国でも珍しい銅の灯籠



▲波の形をした「若狭瓦」



▲京都から伝わった「放生祭」

北前船を通じて感じた、  
地元の人々に対する  
私たちの想い。

北前船が通った海を、乗船体験で見て、こんなに海がきれいだなと感じたので、これから海をきれいにするためにごみ拾いなどをしたいです。北前船が自分たちが通う雲浜小学校の近くにいっぱい来ていたことがわかり、もっと地元の人々について知りたいと思いました。

いつもだしをとっていた昆布が北海道から北前船で運ばれてきたと知り、海でつながっていることを感じ、より海に興味がありました。

小浜には神社に船玉という神様を祀るくらい、北前船、そして海と密接に関わっていたのだと感じ、小浜の海の歴史をもっと知りたくなりました。

北前船は奥が深く、小浜のそして海でつながっている日本中の人々の暮らしを支えています。海を大事にしなければいけないと思いました。



いにしえ

## 古の越前屈指の川湊「三国湊」

### 北前船が運んだもの

北前船が三国湊から運んだ物には笏谷石しゃくだにいしがあり、北海道から中国地方にかけての広い範囲で運ばれました。一方で、瀬戸内地方から御影石いしほくらが運ばれ、石祠などが造られました。

### 北前船が街と海に残してくれたもの

「三国港突堤」は、三国港を象徴するものです。港の人々の永年の命題であった明治時代に造られた突堤は、今もその役割を持ち、堆積する土砂を防いでくれています。



▲「新保春日神社」石祠  
▶旧坂井港である「三国港突堤」



## 京都府 宮津市

栗田小学校



栗田小学校の  
子ども調査団が  
調べたよ!!

## 宮津に歴史を残した北前船

### 北前船が運んだもの

宮津市から外へ運んだもの

from Miyazu

① 由良で作っていたそうめんそうや鰯

外から宮津市へ運んだもの

to Miyazu

① 三上家がお酒造りに使用した米（新瀉）



▲「宮津おどり」体験

### 北前船が街と海に残してくれたもの

宮津おどり。3部構成で1部の「宮津節」と3部の「あいやえおどり」を踊りました。1部は宮津にまた来てねという内容です。3部は九州地方の「ハイヤ節」が起源だそうです。



北前船を通じて感じた、  
地元の海に対する  
私たちの想い。

海を通して地元の由良港と全国の港を北前船が行き来して日本各地の商品が宮津にも入って来ている事を改めて知ることができました。

また、物だけでなく「宮津おどり」などの文化も伝わってきました。



「旧三上家住宅」見学





## 日本海五大船主 右近家のふるさと

### 北前船が運んだもの

北前船が地元から運んだものは石灰や和紙、竹などで、大坂（大阪）などに運ばれました。北前船が地元へ運んできたものは昆布で、北海道から運ばれてきました。

### 北前船が街と海に残してくれたもの

北前船主の館右近家や中村家住宅といった建物。北前船に乗っていた右近権左衛門は、北前船の商いで巨額の財産を築き、明治期には「日本海上保険株式会社」の設立に力を尽くしました。



▲右近家住宅  
▶中村家住宅



## 鳥取市

鳥取県  
鳥取市  
賀露小学校

## すごいぞ！北前船！

### 北前船が運んだもの

外から鳥取市へ運んだもの to Tottori

- ① 広島県尾道市から上小路神社へ鳥居  
(今では新しい鳥居の横にくずれた形で置いてあります)
- ② 広島から賀露神社の参道に敷かれている石  
(水に濡れると緑色になります)



▲運ばれてきた鳥居の石



賀露小学校の  
こども調査団が  
調べたよ!!

### 北前船が街と海に残してくれたもの

- 曲がりくねった道：なぜ曲がっているかという山々に合わせて道がつくられているからです。今から約200年前から人が歩いている道だということが分かりました。
- 鳥ヶ島と港公園：鳥ヶ島はなんと日本遺産の構成文化財になっています。港公園には、でっかい北海道の形が書いてあってすごかったです。

北前船を通じて感じた、  
地元の海に対する  
私たちの思い。

自分たちが住んでいる賀露の町に北前船が寄港していたことを証明してくれる場所・ものが街中にあり、直接見たり触れることで200年も前の地元の賀露を身近に感じられました。



▲ホーエンヤ祭船



▲北前船の船 (いかり)





## 浜田を豊かにした 北前船

### 北前船が運んだもの

浜田市から外へ運んだもの from Hamada

④ 瓦、半胴などの焼物は瀬戸内・大阪へ  
(焼物は近くの登り窯で焼いていました)

外から浜田市へ運んだもの to Hamada

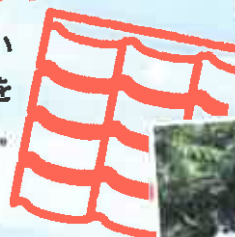
① 北海道・北陸から米など  
(当時は田畑が少なく、米は貴重でした)



松原小学校の  
子ども調査団が  
調べたよ!!

### 北前船が街と海に残してくれたもの

味付けしたおからを、酢に通したサバやアジなどで巻いた「おまんずし」や、船乗りの酒盛り歌「ハイヤ節」をアレンジして浜田の心意気を歌った「浜田節」があります。



北前船を通じて感じた、  
地元の海に対する  
私たちの想い。

ワークショップを通じて、全国の海と繋がっていることを知りました。北前船があったからこそ、地域が豊かになりました。現在海は汚れているので、きれいにするのを心がけたいです。

また、北前船と外ノ浦のことをもっと全国の人に知ってもらいたいです。北前船は浜田の暮らしを良くしてくれた英雄。その英雄が残してくれた海を大切にこれからも浜田の海を守っていきたいです。



▲「西山窯業」の登り窯



▲浜田節



▲北前船ワークショップの様子



広島県  
尾道市

## 各港町に残る尾道の北前船文化

### 北前船が運んだもの

尾道から北海道や東北、北陸には、尾道で製作された石造物(狛犬、鳥居、灯籠など)、四爪碇や尾道酢瓶などが運ばれました。尾道には、米、ニシンや昆布などが運ばれました。

### 北前船が街と海に残してくれたもの

北前船により、昆布等の海産物が運ばれ、尾道に海産物加工の文化が根づいたとされます。毎年正月5日には、構成文化財である住吉神社で昆布等の初セリが行われます。



▲初市

▶「小樽市水天宮」の狛犬



豊小学校の  
こども調査団が  
調べたよ!!



# 北前船の休けい場所 御手洗 みたらい



## 北前船が運んだもの

呉市から外へ運んだもの

from Kure

④ 薪や水 (寄港する船に提供)

多くの富や人、物資で栄えた御手洗は潮待ち風待ちの港町であり、中継貿易港としての色が強かったと推察されます。

外から呉市へ運んだもの

To Kure

① 北陸から米など

## 北前船が街と海に残してくれたもの

御手洗には北前船の船乗りたちが航海の安全を祈願した多くの神社仏閣が残っています。また人の往来は茶屋も誕生させ、その悲しい歴史は御手洗の地で語り継がれています。

貿易で栄えたことによってできた天満神社で手を洗うと字がうまくなると知ることができました。北前船のおかげで町は栄えたが、お歯黒の歴史がかわいそうでした。北前船について興味もてました。もっと知りたいと思いました。江戸みなとまち展示館で北前船の模型を見て昔の船が大きかったことに驚きました。



▲関前側から見た風景

◀北前船ワークショップの様子

北前船を通じて感じた、  
地元の海に対する  
私たちの想い。



# ニシン粕と綿で栄えた港町の歴史

## 北前船が運んだもの

倉敷から外へ運んだもの

from Kurashiki

① 綿や児島の塩

(帰り荷として喜ばれました)

外から倉敷へ運んだもの

to Kurashiki

④ 北海道のニシン粕

(干拓地で綿の栽培の肥料として利用されました)



▲綿花  
▶児島の塩



## 北前船が街と海に残してくれたもの

北前船が運んできた北海道のニシン粕を肥料に、綿の栽培が広がり、まちの名産である繊維製品など、地域産業の発展に大きく貢献しました。北前船の船頭達によって唄い継がれてきた「下津井節」は、岡山県を代表する民謡で、毎年9月に歌い手日本一を決める下津井節全国大会が開催されています。

北前船を通じて感じた、  
地元の海に対する  
私たちの想い。

倉敷の繊維産業の発展は北前船が大きく関わっていること、今も下津井港は美味しい魚がとれることがわかりました。瀬戸大橋の建設により、物流が大きく変わりましたが、瀬戸大橋と海との景観がとても素晴らしいと思いました。

今も下津井港は素晴らしい天然漁場として栄えていて誇らしいです。



▲北前船ワークショップの様子

# 赤穂市

さとし  
坂越小学校

## 坂越に伝統を 運んでくれた北前船



▲赤穂の塩



▲坂越の船祭



坂越小学校の  
こども調査団が  
調べたよ!!

### 北前船が運んだもの

赤穂市から外へ運んだもの

from Aki

① 赤穂の特産品である塩

② 瀬戸内海沿岸の産品

外から赤穂市へ運んだもの

to Aki

① 日本海側の米や海産物など

(北国から坂越などに寄港しながら上方へ運びました)

### 北前船が街と海に残してくれたもの

坂越の船祭。船乗りたちが行っていた祭りの伝統が今も続いています。大瀬神社の船絵馬。船乗りが航海安全のためにまつりました。神社には船乗り達の沢山の思いが今も残されています。



▲大瀬神社



▲船絵馬

北前船を通じて感じた、  
地元の海に対する  
私たちの思い。

昔のこの海には船が多く浮かんでいて、運送手段として使われていました。でも今はあまり船を見かけません。代わりに観光地として使われています。また坂越には生島や旧坂越浦会所という場所も残っており、これからも大切に残していきたいと感じました。



▲北前船模型の帆上げ体験



## 豪商が活躍した兵庫津

### 北前船が運んだもの

北海道から海産物が荷揚げされ、上方からは古着や木綿類などを積みました。船の修理は兵庫津で行われ、工業松右衛門は、木綿を使った厚手で大幅な新型帆布を織り上げ、全国に普及させました。

### 北前船が街と海に残してくれたもの

淡路で生まれた高田屋嘉兵衛は、兵庫津で豪商北風家の支援を受けて、船主船頭となり、兵庫津に本店を構えました。古代から続く港町をより発展させる事に貢献しました。



▲「鎮守稻荷神社」にある「高田屋嘉兵衛」献上灯笼  
▶八王寺にある「工業松右衛門」の墓



## 雪の白浜、風待ち港、 新温泉町諸寄港

### 北前船が運んだもの

雪のように白い砂浜の諸寄港からは、刃物をみがくために使う「砥石」が全国に、また諸寄港には瀬戸内海の「塩」や島根県の「瓦」「鉄」「出雲石」などが運ばれてきました。

### 北前船が街と海に残してくれたもの

諸寄港の為世永神社には、全国の北前船にかかわった人たちが航海の安全を願っておさめた玉垣・灯笼・船絵馬や、北前船で運ばれてきた瓦屋根の建物が多数残っています。



▲雪のように白い砂浜の「諸寄港」  
▶北前船で運ばれた砥石



## 北前船の英雄が生まれた地

### 北前船が運んだもの

江戸時代の記録では、島根県の浜田港に入った都志の船が多く記されており、淡路島から日本海を越えてお米や塩を運んでいました。

### 北前船が街と海に残してくれたもの

古くから港として栄えた都志地区は、北前船の豪商で北海の開拓者としても知られる高田屋嘉兵衛が生まれ育った場所として有名です。



▲「高田屋嘉兵衛」邸宅跡  
▶「高田屋嘉兵衛」肖像



# 風を編む、海をつなぐまち高砂

## 北前船が運んだもの

福井からニシンやしめ粕などが、また、大坂からは切り昆布や干鰯（ほしか）などが運ばれてきました。高砂から大坂へは播州木綿などが運ばれました。



▲「播州木綿」で作られた「高砂染」の浴衣



▲「工楽松右衛門」の銅像

## 北前船が街と海に残してくれたもの

丈夫でしなやかな船の帆を改良した工楽松右衛門は、工夫を楽しむ人。生まれ故郷の高砂の湊も彼の発明した道具で改修され、大きな船が入れるようになりました。



住吉小学校の  
こども調査団が  
調べたよ!!



# 大阪府 大阪市

住吉小学校

## 北前船 命の守り神 『住吉大社』

### 北前船が運んだもの

大阪市から外へ運んだもの from Osaka

- ① 米、酒、砂糖、塩
- ② 衣服、たばこ、紙、ろうそく、綿、藍玉あいだま
- ③ 人形、茶碗、皿

外から大阪市へ運んだもの to Osaka

- ① 数の子、干しナマコ、昆布、ニシンなどの塩魚
- ② 木材、米、東北から肥料（ニシン粕、干イワシ）



▲北前船の廻船業者などから、「住吉大社」に奉納された石灯笼



▲北前船で運ばれた昆布を大阪で加工して作られた「おぼろ昆布」

### 北前船が街と海に残してくれたもの

航海の安全を祈り住吉大社に奉納された600基あまりの石灯笼や、かつおぶし、煮干、イリコ等の魚系と昆布の両方でだしを作る薄口の関西のだし文化が残されました。

北前船を過ぎて感じた、  
地元の海に対する  
私たちの想い。

私たちの地元住吉はその昔海があった地域で、普段よくお祭りやお正月に行く住吉大社が海の神様が祭られているとは知らず、海が身近に感じもつと海について知りたいと思いました。航海の安全をお参りした住吉大社の近くに住む住人として航海に悪影響を与えるようなゴミのポイ捨てはしないように、海岸の掃除など海を綺麗にして航海が危なくないようにしたいです。海は今も昔も物を運ぶために大切な役割を持っているのだと感じました。



▲北前船ワークショップの様子

海よ、ありがとう!!

# 僕たち私たちの海への思い



宮津市



赤穂市



具市



倉敷市



浜田市



鳥取市



大阪市



石狩市



野辺地町



由利本荘市



酒田市



上越市



小松市



高岡市



今回、僕たち私たちは、「北前船」を通じて、日本の海のこと、自分のまちのこと、そして、さまざまな地域のことに触れ、たくさん<sup>ごうりゅう</sup>のことを学んできました。もし、海がなかったら、今ほどの日本の文化の交流や<sup>はっ</sup>発展は見られなかったかもしれません。近年、プラスチックゴミの漂流や<sup>ひょうりゅう おんだんか</sup>温暖化により、海は危険にさらされています。僕たち私たちの生活になくってはならない海の大切さを知ること、守るためにはどうすればよいのか?を、みんなで一緒に考えていきましょう。これからも海を通してさまざまな交流ができることを期待しています。

小浜市





北前船子ども調査団 2018年11月発行



発行 / 一般社団法人北前船交流拡大機構

協力 / 北前船日本遺産推進協議会

制作協力 / 38市町の寄港地・船主集落のみなさん、

「北前船子ども調査団」としてワークショップに参加して下さった15市町の小学生のみなさん、  
海と日本プロジェクトのみなさん、および各施設、ボランティアガイドの方々

この事業は日本財団「海と日本プロジェクト」の一環で実施しています。

●許可なく転載・複製することを禁じます。